

ハイメドハギ（這薯蓣）

名前の意味：茎が這うメドハギの意味。昔、占いに使ったメドギという棒をこの植物の茎で作った。メドギハギが縮んでメドハギになった。

分類：双子葉類、マメ科、ハギ属

（マメ科の栽培植物：ダイズ、アズキ、エンドウ、インゲン、ナンキンマメ）

好きな場所：日当たりのよい道端、空き地

分布：本州、九州

原産地：昔から日本に生えていた（自生）

特徴：はう茎、葉の根元につく白と紫色の小さな花。円盤状の実。

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数：離弁、5枚

花の時期：8—10月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：メドハギは茎が真っ直ぐ立つ。ネコハギは小葉が丸く、毛が多い。

見つけやすさ ★★★★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度 ★★★★★

（★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い）